

「西洋音楽の歴史 第2巻」

STORIA
DELLA
MUSICA OCCIDENTALE

M.カッロツォ / C.チマガッリ 共著
川西 麻理 翻訳

2010.03.31発行 定価4,830円(本体4,600円)
ISBN978-4-903439-08-2 C1073 ¥4600E B5判・512頁

イタリア語
からの
翻訳本

近年研究の進展著しい西洋音楽の歴史の深部へと、
堅苦しくない語り口でいざなう一冊。
プロ・アマ問わず音楽のルーツを辿りたい方へ。

イタリア音楽院の定番テキスト

西洋音楽の歴史 第2巻

バロックからウィーン古典派まで

序文

第四部 情感を揺さぶる音楽

- 第16章 モノディに関わる理論家、人文主義者、作曲家
- 第17章 モンテヴェルディと「第2の作法」
- 第18章 17世紀のイタリアオペラ
- 第19章 ジローラモ・フレスコバルディ
- 第20章 オラトリオと雄弁術

第五部 バロック音楽の位置づけ

- 第21章 室内カンタータ
- 第22章 バロック時代のソナタ
- 第23章 17世紀のフランスオペラ
- 第24章 17世紀から18世紀にかけてのヨーロッパ
- 第25章 バロック時代のコンチェルト

第六部 理論上の諸問題「偉大なる祖先のギャラリー」

- 第26章 バッハとヘンデル
- 第27章 17世紀から18世紀のオペラ・セリア
- 第28章 インテルメッツとオペラ・ブッフ
- 第29章 ギャラント様式から古典派の様式へ
- 第30章 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
- 第31章 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

好評発売中！

『西洋音楽の歴史 第1巻』

M.カッロツォ C.チマガッリ 共著
川西 麻理 翻訳

「なぜ？」に重きを置き、
思索しながら読む西洋音楽の歴史。

2009.03.06発行 / 定価3,990円(本体3,800円)
ISBN978-4-903439-06-8 C1073 ¥3800E B5判・320頁



「西洋音楽の歴史 第3巻」は、2011年春の刊行予定です。
第七部 ロマン派の美的様式／第八部 新しい音楽への道

時代背景を読む前半と
豊富な譜例による考察の後半
西洋音楽史の深部へといざないます



cp C LIGHT publishing
シーライト パブリッシング

シリーズ第2巻
発売開始！

【著者】

マリオ・カッロツォ (Mario Carrozzo)

1961年、ナポリ生まれ。ローマのサンタ・チェチーリア音楽院で、ピアノと音楽学のディプロマを満点で取得。その後、バヴィア・クレモンナ大学で音楽学を学ぶ。バッハ、ヴィヴァルディ、シューベルト等の音楽、さらに聴覚教育法とフーゴ・リーマン(Hugo Riemann)の音楽理論に関する歴史的・分析的な論文を発表しながら、一般的な音楽的研究と平行して、科学的研究にも励む。1975年よりピアニストとしての活動を始め、ナポリのサン・ピエトロ・アマジェッラ音楽院図書館の手稿譜の目録作成のプロジェクトにも参加。現在、カンボパッソのロレンツォ・ペロージ音楽院で教鞭を執るとともに、マラーのモノグラフにも取り組んでいる。

クリスティーナ・チマガッリ (Cristina Cimagalli)

1961年、ローマ生まれ。ローマのサンタ・チェチーリア音楽院で、オーケストラ指揮、音楽学、ピアノのディプロマを取得。作曲法、バロック奏法等も学ぶ。論文も多数発表しており、カタログ監修、学会や演奏会等の企画・司会、プログラムの執筆なども行う。現在、1800～1850年にローマで行われた演奏会活動の再構築を研究テーマとしている。作曲家、指揮者、ピアニストとしても活動し、イタリア国内外で演奏会を行っている。1994年より国立音楽院で音楽史を教え、現在はカンボパッソのロレンツォ・ペロージ音楽院で教鞭を執っている。